

「2018 年度住品協報告会」は、**2019 年 2 月 21 日(木)**に「KFC HALL Annex(両国)」において 業界講演などと併せて開催します。

つきましては、**研究・技術報告を募集**いたしますので、以下の募集規定を熟読のうえご応募ください。

研究・技術報告募集規定

1. 研究・技術報告の内容

住宅地盤に関する学術・技術に関する最近の研究、技術報告などで未発表なもの。
ただし他学会発表会などに発表したもので特に住宅地盤に関連の深いものはこの限りではない。なお、研究・技術報告は、次の3つの枠組みとする。

1)「品質管理」

住宅地盤に関わる品質向上に関わる活動報告。地盤改良の品質向上技術、新工法、既存工法の改良、地盤調査、設計品質にかかわる活動報告

2)「業務改善」

中小企業の人材不足、今や 70%を超える企業がその問題に対し、大きな危機感を持っている。本部門は、トライアンドエラーを含む、まずは出来る対策事例や活動報告

3)「生産性の向上」

本業界の現状や課題、業務効率改善との違い、生産性向上の具体的な方法、会社が生産性向上のために考えるべき視点、取り組み事例や活動報告

2. 著作権について

- a. 著者は掲載された発表原稿の著作権を本協会に委託する。ただし、本協会は、第三者から文献等の複製・引用・転載に関する許諾の要請がある場合は、原著者に連絡し許諾の確認をおこなう。
- b. 著者が、自分の研究・技術報告を自らの用途のために使用することについての制限はない。なお、掲載された研究・技術報告をそのまま他の著作物に転載する場合は、出版権に関わるので本協会に申し出る。
- c. 編集出版権は、本協会に帰属する。

3. 応募資格と講演

- a. 講演発表者(筆頭著者)は、本協会会員企業・団体に所属する者をはじめ、所属しない者も発表できる。ただし、講演発表者(筆頭著者)が所属しない者の場合、共同研究者(共著者)に本協会会員企業・団体の所属者が1名以上含まれている必要がある。
- b. 講演発表者は必ず発表会に出席し、講演すること。

- c. 講演は、1 題当たり 15 分以内とする(講評、質疑応答等含む)。
応募題数が多い場合はプログラム編成上、発表時間を変更することもある。

4. 応募方法

- a. **申込み(1) 2018 年 9 月 14 日(金)までに、あらかじめ下記の事項を明記した研究・技術報告発表申込書を 発表申込書受付専用 E-mail にて事務局へ提出する。**

発表申込書受付専用 E-mail: anzaimk@juhinkyo.jp

1)発表部門、2)研究・技術報告題目、3) 著者および所属する会員企業の種別・番号・名称(連名の場合は発表者に○印を付す)、4)連絡先住所、5)研究・技術報告概要を明記した 200 字程度のものを記す。

- b. **申込み(2) 電子投稿による発表原稿の提出をもって申込みとみなす。**
ただし、原則、申込み(1)から原稿の内容を変更される場合は、申込み(2)原稿提出時までに変更届を提出すること。期限内に変更届を提出されない方は、プログラム、報告集目次、CPD 履修登録に反映されない場合もある。(変更届として、発表申込書を使用すること)

- c. 発表申込書等の頒布:原稿に必要な発表申込書等を住品協ホームページに掲載する。

- d. 原稿の書き方:執筆要項などを、熟読のうえ執筆する。

- e. 原稿執筆注意:

- 1)発表原稿は「目的」「方法または経過」「結果」の順に記す。または調査報告・統計資料の発表もこれに準ずる。
- 2)継続研究にあたっては、最近における前発表の掲載書名、掲載年月、号数、発行年月等を必ず前書きする。他学会等に発表したものについても同様とする。
- 3)発表に際しては、会場に備え付けの機器(PC プロジェクター、PC)以外の使用はできない。PC プロジェクター、PC の使用条件や使用方法は後日「住品協 HP」にて公表する。
- 4)原稿を提出する場合は、**電子投稿用原稿作成上の注意**を熟読の上、作成・提出する。

5. 発表原稿の提出と締切

発表原稿は、電子投稿のみとする。

- a. **発表原稿の提出期限は、2018 年 12 月 28 日(金)とする。**
 - 1)締切期限に遅れたものは受理しない。
 - 2)原則として原稿は返却しない。
 - 3)提出後の訂正は一切認めない。

- b. **発表原稿** :Adobe Acrobat Reader5.0 以降で表示または印刷可能な PDF ファイル(概ね 1M バイト以内、圧縮ツール使用不可)に変換して、下記の原稿受付専用メールアドレスに送付すること。なお、印刷時にトラブルが生じた場合は、紙面による原稿の送付をお願いする場合がある。(詳細は、原稿執筆要領&電子投稿用原稿作成上の注意を参照のこと)

原稿受付専用 E-mail: anzaimk@juhinkyo.jp

6. 研究・技術報告集

発表原稿は、「住品協報告会」として印刷発行し、無償(予定)で頒布する。

7. 発表原稿の採否

発表原稿の採否は、住品協報告会審査会(仮称)が決定する。下記条項等に照らし住品協報告会の発表原稿として不適切と認められるものは採択しない。

- a. 原稿に記した説明が著しく不十分なもの。
- b. 内容が商業宣伝に偏したもの(商品名の使用には注意すること)。
- c. 募集規定に反するもの(発表申込書、本文、発表者等記載不備)
不採用となった場合は 1 月末日までに本人に通知、提出原稿を返却する。

8. 発表登録費および研究・技術報告集と発表会参加費の徴収

- a. 発表登録費は、無償とする。
- b. 発表会当日は、下記の発表会参加費を受付で徴収する。
資料として研究・技術報告集を配布する。

発表会参加費

当日発表会参加者	参加費
発表者・共同研究者	1,000 円
上記以外の参加者	1,000 円

9. 各種規定及びプログラムについて

各種規定及びプログラムなどの詳細は、住品協ホームページに掲載する。

上部メニューバー「住宅地盤の知識と技術」→「技術委員会成果報告」→「住品協報告会」

<http://www.juhinkyo.jp/knowledge/accomplishment-report/> の「住品協報告会」

以上